

「ムナのたとえ」

2015年11月17日

ルカによる福音書 19 章 15 節～26 節。さて、彼は王の位を受けて帰って来ると、金を渡しておいた僕を呼んで来させ、どれだけ利益を上げたかを知ろうとした。最初の者が進み出て、『御主人様、あなたの一ムナで十ムナもうけました』と言った。主人は言った。『良い僕だ。よくやった。お前はごく小さな事に忠実だったから、十の町の支配権を授けよう。』二番目の者が来て、『御主人様、あなたの一ムナで五ムナ稼ぎました』と言った。主人は、『お前は五つの町を治めよ』と言った。また、ほかの者が来て言った。『御主人様、これがあなたの一ムナです。布に包んでしまっておきました。あなたは預けないものも取り立て、蒔かないものも刈り取られる厳しい方なので、恐ろしかったのです。』主人は言った。『悪い僕だ。その言葉のゆえにお前を裁こう。わたしが預けなかったものも取り立て、蒔かなかったものも刈り取る厳しい人間だと知っていたのか。ではなぜ、わたしの金を銀行に預けなかったのか。そうしておけば、帰って来たとき、利息付きでそれを受け取れたのに。』そして、そばに立っていた人々に言った。『その一ムナをこの男から取り上げて、十ムナ持っている者に与えよ。』僕たちが、『御主人様、あの人は既に十ムナ持っています』と言うと、主人は言った。『言うておくが、だれでも持っている人は、更に与えられるが、持っていない人は、持っているものまでも取り上げられる。』」

上記の「ムナのたとえ」は、マタイ福音書 25 章に「タラントのたとえ」の並行記事がある。立派な家柄の人が王位を受けるために遠い国に旅立った。その時、10 人の僕を呼び、1 人に 1 ムナずつを渡し「わたしが帰って来るまで、これで商売をしなさい」と命じた。1 ムナは 100 日間の労働賃金に相当する額である。

主人は王位を受けて帰国すると、僕たちを集め、どれだけ利益を上げたかを聞き質した。最初の僕は「御主人様、あなたの一ムナで十ムナもうけました」と報告した。主人は「良い僕だ。よくやった。お前はごく小さな事に忠実だったから、十の町の支配権を授けよう」と称賛した。二番目の者は「御主人様、あなたの一ムナで五ムナ稼ぎました」と報告した。主人は、「お前は五つの町を治めよ」と褒めた。1 ムナで 10 倍、5 倍の利益を上げることができるであろうか。大変な努力をしたという訳である。他の者が来て「御主人様、これがあなたの一ムナです。布に包んでしまっておきました。あなたは預けないものも取り立て、蒔かないものも刈り取られる厳しい方なので、恐ろしかったのです」と 1 ムナをそのまま返却した。すると主人は「悪い僕だ。その言葉のゆえにお前を裁こう。わたしが預けなかったものも取り立て、蒔かなかったものも刈り取る厳しい人間だと知っていたのか。ではなぜ、わたしの金を銀行に預けなかったのか。そうしておけば、帰って来たとき、利息付きでそれを受け取れたのに」と怒り、1 ムナを取り上げ、10 ムナを持っている者に与えよと命じた。そして「言うておくが、だれでも持っている人は、更に与えられるが、持っていない人は、持っているものまでも取り上げられる」と言われた。

多く働いた者に多くを任せるといふ世俗の論理、論功行賞のように聞こえる。主イエスは一生懸命に働いて稼ぎなさいと教えたのであろうか。そうではないだろう。神は人それぞれにタラント（能力）を与えている。それを十分に生かし、豊かな人生に広げなさい。能力をしまい込んでおくと、せつかくの人生が貧しいものになるという譬えであらう。神を信じるということは、与えられた生を精一杯生きることである。